

国家存亡の危機紙一重

菅直人前首相 福島事故振り返る

福島事故当時の菅直人首相が八日、東京・日本記者クラブで講演し、民主党政権の三年間を総括し、日本のエネルギー政策や政治状況について述べた。

菅前首相は福島事故について、「よく事故の拡大が停まってくれたと感じている。紙一重をすり抜けたということだろう。もっと大変なことになった可能性はある」と当時の最高責任者として振り返った。「首都圏三千万人が逃げなくてはならなくなったときの経済的ダメージはどのくらいか、まさに国家存亡の危機に陥るのだ」とも述べた。

今後の原子力発電について、民間が原子力発電に対し100%責任を持つことができないか。原子力発電は一刻も早く、国に集約し(適正価格で買い取って)、そのうえで廃炉にするかしないか考えるべきだ」と考えを述べた。

事故当初の具体的な対応では、東京電力から国へ支援要請があったのは電源車の送付が最初であったことを明らかにし、「電源車さえ届けば十

警戒区域解除で 清掃・除草開始

楢葉町

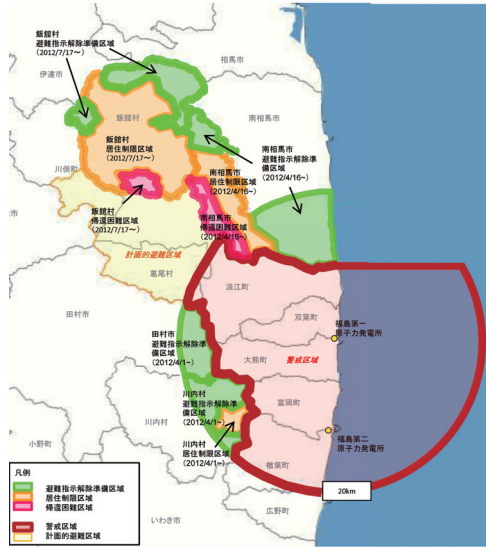
楢葉町は十日午前〇時より警戒区域が解除され、町内全域が避難指示解除準備区域に再編された。住民は宿泊を伴わない一時帰宅や立ち入りが自由になった。これまで田村市、南相馬市、川内村、飯館村が再編されてきたが、原子力発電所所在地自治体では初めて。

楢葉町では再編後に福島復興再生特措法に基づき、長期間放置されていた町庁舎や地区集会所の清掃作業、主要幹線道路や生活道路を中心とした除草作業に着手した。公共施設への仮設トイレ設置を進めていく。

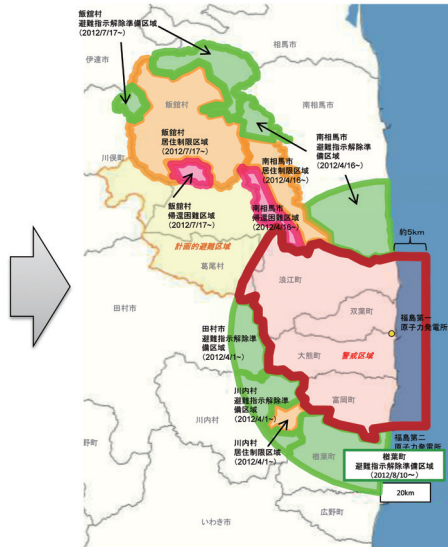
楢葉町における区域見直し前後の避難指示区域と警戒区域の概念図

平成24年7月31日

【楢葉町の区域見直し前(現在)】



【楢葉町の区域見直し後】



出典：首相官邸の原子力災害対策本部ホームページ

非常用復水器の 現況を撮影

福島第一1号機



東京電力は八日、福島第一原子力発電所1号機非常用復水器の現況を撮影した。原子炉建屋五階のオペレーティング・フロアの状況を把握するため、カメラを取り付けた球型の気球を使って調査を行ったが、気球が途中でケーブルと思われるものに妨げられた。オペレーティング・フロアまでは到達できなかったが、その下の四階の状況については、撮影に成功した。

四階フロアには、事故を起した福島第一1号機の動画を、日本記者クラブのホームページ(http://www.jnpc.or.jp)から見られる。

具体的には、新増設や既設炉の四十年以上運転を認めず、再稼働にも災害防止基準への適合性を厳しくチェック。高速増殖原型炉「もんじゅ」は即時廃止、再処理も停止し直接処分へ。発送電分離・電力系統強化などの電力システムの改革なども基本計画に盛り込むとしている。

寿命前の廃炉に対しては、電力会社に補償することも法に明記するとしている。

各政党に、法案を早期に国会へ提出し可決するよう働きかける。二十九日には政党を交えた院内集会を開催の予定だ。

現時点の代表世話人には他に、桜井勝延・南相馬市長、村上達也・東海村長、村田光平・元スイス大使らも名を連ねている。

反対派が脱原発 法制定で運動

全国ネット設立

原子力発電に反対する有識者が二十二日、原子力発電を法律で停止することをめざす「脱原発法制定全国ネットワーク」の設立記者会見を衆議院議員会館で行った。

同ネットワークの世話人は大江健三郎氏(作家)、河合弘之氏(脱原発弁護団全国連絡会、鎌田慧氏(作家)ら、事務局長は海渡雄一氏(脱原発弁護団全国連絡会)。

法案の趣旨では、原子力のリスクの大きさや高レベル放射性廃棄物の最終処分が確立していない問題などを指摘し、遅くとも二〇二〇年度ないし二〇二五年度までのできる限り早い時期に実現させなければならないことを基本とするとしている。

の原子炉建屋五階のオペレーティング・フロアの状況を把握するため、カメラを取り付けた球型の気球が途中でケーブルと思われるものに妨げられた。オペレーティング・フロアまでは到達できなかったが、その下の四階の状況については、撮影に成功した。

四階フロアには、事故を起した福島第一1号機の動画を、日本記者クラブのホームページ(http://www.jnpc.or.jp)から見られる。

具体的には、新増設や既設炉の四十年以上運転を認めず、再稼働にも災害防止基準への適合性を厳しくチェック。高速増殖原型炉「もんじゅ」は即時廃止、再処理も停止し直接処分へ。発送電分離・電力系統強化などの電力システムの改革なども基本計画に盛り込むとしている。

寿命前の廃炉に対しては、電力会社に補償することも法に明記するとしている。

各政党に、法案を早期に国会へ提出し可決するよう働きかける。二十九日には政党を交えた院内集会を開催の予定だ。

現時点の代表世話人には他に、桜井勝延・南相馬市長、村上達也・東海村長、村田光平・元スイス大使らも名を連ねている。